

令和5年度 第一回 香芝市子ども・子育て会議 議事要旨

- |        |   |
|--------|---|
| 【開催日時】 | 令和5年10月26日(木) 午前10時00分～11時30分                               |
| 【場所】   | 総合福祉センター 3階 会議室1  |
| 【出席者】  | 加藤会長、横山副会長、岡本委員、奥委員、楠瀬委員、赤土委員、出川委員、畑山委員、峯委員、森下委員、(計10名)     |
| 【事務局】  | 福祉部長、健康部次長、福祉部次長兼児童福祉課長事務取扱、こども課長、保育課長、保健センター所長、保育課員、児童福祉課員 |
| 【傍聴人】  | 2名  |
| 【議題】   | 第3期香芝市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート内容の検討<br>その他                   |

◆ 第3期香芝市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート内容の検討

<概要>

第3期香芝市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、今後の教育・保育・子育て支援の需要を把握するためのアンケートを実施する。そのアンケートの内容について検討、協議を行うもの。

<質疑・意見等>

～未就学児 保護者向けアンケート～

【質疑・意見1】

(委員) 未就学児アンケートの問21、22【認定こども園・公立保育所・幼稚園の民営化について】に関連すると思うが、公立の園を民営化していくという動きが全国的には一般的な流れかと思っている。これについて保育課から追加質問があったということは、保護者の回答いかんによって、公立の民営化の動きに変化があり得るということが前提になっているのか。

(事務局) この件については、令和元年7月の公立幼稚園及び公立保育所の再編等に関する基本方針を策定時に、一度アンケートを行っている。再度、事業が進み、以前より状況が変わってきているというところで確認をする旨の質問である。この設問によって、方向性が変わるというところは考えていない。民営化をしていくにあたって、保護者が望んでおられることをなるべく取り入れて進めていくために質問を追加している。

【質疑・意見2】

(委員) 問19【第2子以降の保育料無償化の影響で予定・理想の子どもの数に影響について】において、回答項目が1人増えた、2人増えた、3人増えたとあるが、項目をまとめて「増えた」だけでいいのではないか。具体的にそこまで数を求めないといけないのか。もしくは、「今後、影響があると思われる」というような、この施策には期待をしているというような意図の回答を入れてもいいと思う。

【質疑・意見3】

- (委員) 問20【認定こども園への一本化について】、問21【認定こども園の民営化について】の回答方法について、「一つだけに○」となっている。選択肢は「音楽や体育、英語教室等の充実」、「幼児教育の充実」、「保育サービスの充実」、「安心安全な保育環境」とあって、一つしか選べないのに、回答項目が多いように思う。そのため回答をまとめられるものがあるのではないか。
- また、公立と民営化（私立）とを比べたときに、私立では音楽、体育、英語教育をやっているというようなイメージが浮かぶと思うが、それだけではない。公立と私立等を区分した設問として、考えていくときには違和感があり、引っかかる部分である。たくさん○をつけられたら、集計や考察が大変だという部分があるのかもしれないが、一つと絞るならば、もう少し回答項目数を減らすというのはどうなのか。
- (会長) 回答を一つに限定するならば、回答項目を絞る方がいいという意見。ならば、逆に回答を複数選ぶようにすれば、このままで良いということか。
- (委員) 私立幼稚園の立場からいうと、保育サービスの充実、安心安全の保育環境。幼児教育の充実と、音楽や体操・英語教育等の充実。これらがペア的な感覚があるため、この問いには違和感があったが、具体的な代替案があるわけではない。

【質疑・意見4】

- (委員) 問27【地域子育て支援拠点・つどいの広場事業について】において、「今のままでよい」「改善が必要」「わからない」の回答項目があるが、選択肢が少ないのではないか。現状、市の方針としては中学校区に一つという方針で実施していることと思う。それが小学校区に一つだったらどうなのか等、色々な見方ができるようなものがあればいいと思うため、もう少し選択肢があった方が次の展開が考えられると思う。

【質疑・意見5】

- (委員) 問40【貧困に係る経験について】において、Bの4番「新聞や雑誌を買うのを控えた」となっているが、インターネットの普及もかなり多くなってきており、新聞と言うのは私、個人的にもとっていない。周りの意見を聞いても新聞をとっていないという方が多数いる。そのような理由から貧困とは結び付かないのではないかと思う。

【質疑・意見6】

- (委員) 問21【認定こども園の民営化について】において、「民営化を推進した際に」とあるが、問22【公立保育所・幼稚園の民営化について】では「不安に」と文言があり、不安なことに限定されているのが気になる。民営化を考える上で、不安だけでなく、何か考えていることを聞くのはどうか。

※【質疑・意見2～6】に関しては、事務局にて再度検討する。

～就学児 保護者向けアンケート及びアンケート全体～

【質疑・意見7】

- (委員) 問26【経済的な理由で、できない事があったか】において、この一年間の経験に限定しているが、この数年のコロナ禍の影響も踏まえてもう少し期間に幅を持たせてもいいのではないか。
- (事務局) おおむね1年と区切った方が、回答者がイメージしやすいだろうという意図があったが、ご意見を受けて事務局にて再考する。

【質疑・意見8】

- (委員) 問19【放課後児童クラブへの希望について】において、「当てはまるものすべてに○」とあるが、未就園児の「民営化した時に期待すること」の質問では、「一つだけ○」となっている。同様の質問に思うが、この二つの違いは何か。
- (事務局) 質問にあった二つの質問の担当課が違うため、似た質問でもそれぞれ回答形式が異なっていた。担当課間で検討し、調整する。

【質疑・意見9】

- (委員) 問20【お子さんが病気やケガで学校が利用できなかったことがあるか】において、「学校が利用できなかった」の定義は、どのようなものか。
- (事務局) 問21【お子さんが病気やケガで学校が利用できなかった時の対応について】では、半日程度の対応も1日とカウントしているため、たとえ半日であっても学校へ行くことが出来なかったら「利用出来なかった日があった」に該当するものとする。

【質疑・意見10】

- (委員) 今回のアンケート内容を協議するにあたって、事前に各委員に意見する機会を与えていただいた事を本当に感謝している。アンケート内容がとても現実的であり、保護者の子育て支援及び子育て生活をイメージできるようなものになっており、とてもうれしく思っている。アンケートの対象者を抽出する方法について詳しく教えていただきたい。できるだけ校区に偏りがないようにした方がいいと思っている。
- (事務局) 住所地については、地域の偏り等がないように、ご意見に沿うような形で無作為に2000世帯を抽出できるよう考えている。

【質疑・意見11】

- (委員) アンケートの回答者が積極的に意見を伝えようと思えるような、回答者が得するような仕組みができないものか。  
また、QRコードを読み取ったのWEBアンケートはできなかったのか。
- (事務局) アンケートにおけるインセンティブを与える方法は現状では難しい。また、QRコードの件については、スタート時点でそこまで検討できていなかったため、紙ベースでの計画で進めている。次期に向けての課題として認識している。
- (会長) QRコード等を用いたネットでのアンケートについては、私からも提案はさせていただいたが、本アンケートの中身が複雑であるため、今回は紙ベースの方が適しているのではないかと結論になっている。

【質疑・意見12】

- (委員) 就学児のアンケートについて、所要時間が15分とあるが、この量ならばもう少し短くできるのではないかと。短くした方が、より回答しやすいのではないかと。  
また、11月中旬に送付、12月末に分析とあるが、締め切りが11月30日のままでよいのかご意見を伺いたい。
- (事務局) 現状、11月30日でいったん締め切り日を設定している。しかし、11月30日を過ぎても回答は受け付けていくつもりであり、最終的には12月下旬ぐらいまで受付できるようにと考えている。  
また、就学児用のアンケート所要時間についてはご指摘通り10分に変更する。

【質疑・意見13】

- (委員) アンケートのいつ時点における状況を回答するのかの部分について、先にいただいていたものは10月1日時点での状況を答えるものであったが、今日の資料では11月1日時点に代わっている。なぜか。
- (事務局) 混乱させてしまい、申し訳ない。会長、副会長からご意見をいただき、回答する際に、できるだけ直近の日を設定した方がイメージしやすく、より新しい情報が得られるためいいのではないかとということで、11月1日時点に変更している。



その他

今後の会議スケジュール等について事務局より説明